



祝！卒業

3月2日（木）に卒業証書授与式を挙行了しました。今年度は飯田文化会館で式を行い、232名の生徒が本校を巣立っていきました。風越高校での生活や学びを糧に、仲間と切磋琢磨しながら社会に貢献できる人材となってくれることを願っています。本校の教育活動にご理解くださり、3年間支えてくださった保護者の皆様、地域の方々、本当にありがとうございました。



式は、感染症対策を徹底し4年ぶりに在校生も参列しました。卒業生はステージから入場し、1人1人が主役となる華やかな式となりました。卒業生代表は、全て英語で答辞を披露。スライドを使用し、高校生活の写真とともに、日本語訳も投影されました。

<卒業生代表答辞 一部抜粋>

私たちの高校生活はコロナ禍から始まりました。入学式後すぐに約1か月の休校があり、そのあとは分散登校でやっと登校できるようになりました。しかし、友達を作ろうと思っても顔を見せて話すことさえできない日々が続きました。

高校生活を彩るメインイベントと胸を弾ませて期待していたクラスマッチ、文化祭は軒並み延期や規模の縮小を余儀なくされました。スマホの写真フォルダーにある私たちの写真はマスク姿が大半を占めていました。また、部活動の大会が中止になることさえもありました。その度にどこにぶついたら良いかわからない怒りや悔しさを感じてきました。

確かに私たちは“可哀そうな高校生”だったかもしれません。大人の皆さんが経験したような高校生活を送ることは叶いませんでした。しかし、それでも私達の3年間は誰にも負けないほど輝き、楽しかったと胸を張って言うことができます。それはマスクに遮られようとも消えることのなかった仲間の笑顔と笑い声がいつも側にあったからです。私たちはこんな最高の仲間に出会えたことに心から感謝しています。そしてこの3年間の思い出とこの場所で学んだことは私たちの心に残り、今後の私達を形作る大切な礎となると信じています。

目には見えない小さなウィルスとの戦いは、目には見えない人とのつながりの大切さに改めて気づく機会となりました。当たり前が当たり前ではないことに気づき、様々な制約があっても決してあきらめずに光を見出してきた私達ならきっとどんな苦難も乗り越えられると信じています。在校生の皆さんもこの学校を旅立つときに目には見えないけれど、常にみなさんのそばにあって勇気づけてくれる人とのつながりを持って卒業できることを心から願っています。

(日本語訳)

卒業生代表 3年6組 澤柳りな



→最後のホームルームの様子